

平成 28 年度

企 業 局 の 概 要

島 根 県 企 業 局

目 次

【総括的事項】

1. 企業局の沿革	1
2. 企業局の組織	4
(1) 組 織 図	4
(2) 所 在 地	4
3. 職 員 配 置	5
4. 決 算 状 況	6
平成27年度決算総括表	6
5. 平成28年度当初予算の概要	7
(1) 電気事業会計	7
(2) 工業用水道事業会計	8
(3) 水道事業会計	9
(4) 宅地造成事業会計	10
付表 ダム費用負担割合表	11

【電気事業】

1. 事 業 の 概 要	13
2. 供給電力量の状況	14
3. 営業収支の状況	14
4. 発電所一覧表	15
(1) 水力発電所	15
(2) 風力発電所	18
(3) 太陽光発電所	19

【工業用水道事業】

1. 事 業 の 概 要	21
2. 給 水 計 画	22
3. 営業収支の状況	23
4. 施 設 の 概 要	24
(1) 飯梨川工業用水道事業	24
(2) 江の川工業用水道事業	25
5. 概 要 図	26

【水道事業】

1. 事業の概要	27
2. 給水計画	28
3. 営業収支の状況	29
4. 施設の概要	30
(1) 鳥根県水道用水供給事業	30
(2) 江の川水道用水供給事業	32
5. 概要図	33

【宅地造成事業】

1. 事業の概要	35
2. 営業収支の状況	35
3. 江島工業団地造成事業	36
(1) 事業の概要	36
(2) 土地利用状況	36
(3) 団地内配置図	37
4. 江津地域拠点工業団地造成事業	38
(1) 事業の概要	38
(2) 土地利用計画	38
(3) 団地内配置図	39

企業局事業概要図	41～42
----------	-------

總括的事項

1. 企業局の沿革

- 昭和26.10 島根県土木部砂防電気課において三成発電所の建設に着手
- 29. 6 三成発電所竣工運転開始（出力2,830kW）
 - 30. 1 八戸川発電所建設着工
 - 33. 1 八戸川発電所竣工運転開始（出力5,400kW）
 - 4 三隅川発電所建設着工
 - 35. 4 砂防電気課を砂防課に改め、新たに地方公営企業法を適用し電気局発足。本局に総務課、工務課を置く。
 - 36. 3 浜田川発電所建設着工
 - 4 三隅川発電所竣工運転開始（出力7,400kW）
 - 9 矢原川発電所竣工運転開始（出力100kW）
 - 38. 4 浜田川発電所竣工運転開始（出力2,000kW）
 - 4 飯梨川総合開発事業（布部ダム）に着手（工業用水道、発電他）（受託）し、調査事務所を設置する。
 - 39. 4 飯梨川発電所建設着工し、飯梨川総合調査事務所を建設事務所に改める。
 - 40. 4 電気局を企業局に改める。
 - 4 飯梨川都市用水事業（水道創設分、工業用水道）建設着工
 - 42. 3 飯梨川第二発電所建設着工
 - 43. 4 飯梨川第一発電所竣工運転開始（出力3,000kW）
 - 4 八戸川総合開発予備調査に着手
 - 11 飯梨川第二発電所竣工運転開始（出力1,400kW）
 - 44. 4 宅地造成事業（道分山開発事業）工事着工し、出張所を設置する。
 - 6 飯梨川水道事業（創設分）松江市、東出雲町に対し給水開始
 - 6 飯梨川工業用水道事業一部給水開始
 - 45. 3 飯梨川都市用水道事業竣工（工業用水34,000m³/日、水道用水16,000m³/日）
 - 4 八戸川総合開発事業実施調査に着手し、調査事務所を設置する。
 - 4 道分山開発出張所を事務所に改める。
 - 46. 3 道分山開発事業第一期工事竣工
 - 4 八戸川総合開発事業（八戸ダム）建設に着手（都市用水230,000m³/日、発電）し、調査事務所を建設事務所に改める。
 - 4 新八戸川発電所建設着工
 - 47. 9 道分山開発事業第二期工事竣工
 - 48. 4 山佐川総合開発事業に着手（受託）（水道用水36,000m³/日）し、建設事務所を置く。
 - 4 美田川総合開発事業に着手（受託）し、建設事務所を置く。
 - 6~9 異常渇水により飯梨川都市用水水源枯渇
 - 7 飯梨川水道事業（創設分）、安来市へ給水開始
 - 10 境港（江島地区）臨海工業用地造成事業着工
 - 49. 4 企業局の組織を改め本局に総務課、経営課、開発課を置く。
 - 50. 4 企業局の組織を改め本局に総務課、経営課、開発第一課、開発第二課を置く。
 - 51. 3 八戸川総合開発事業竣工
 - 4 八戸川第二発電所（新八戸川発電所を改称）竣工運転開始（出力2,500kW）
 - 4 八戸川第一発電所（八戸川発電所を改称）出力増、運転開始（出力5,400kW→6,000kW）
 - 52. 3 道分山開発事業第三期工事竣工
 - 4 企業局の組織を改め開発第二課を廃止、開発第一課を開発課と改称

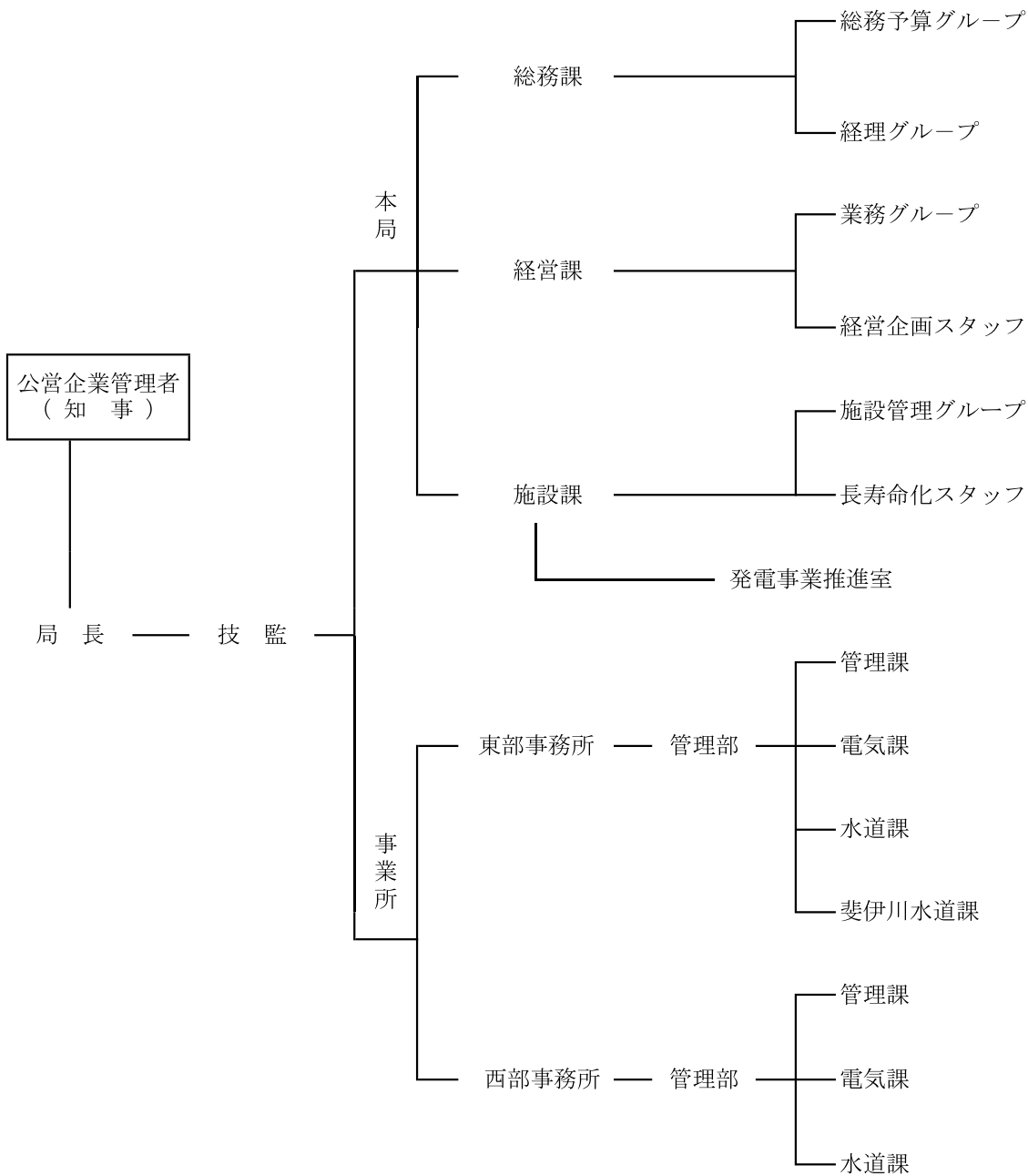
- 昭和53. 6 美田川総合開発事業竣工
- 55. 4 江の川都市用水道（工業用水50,000m³/日、水道用水27,000m³/日）事業に着手し、江の川水道建設事務所を置く。
 - 4 江津地域拠点工業団地造成事業に着手
 - 4 山佐川総合開発事業（山佐ダム）竣工
 - 5 飯梨川水道（拡張分）松江市、東出雲町へ給水開始
 - 56. 4 江の川水道建設事務所を石見地域開発事務所に改める。
 - 4 八戸川第一発電所2号機増設工事に着手
 - 4 三隅川総合開発事業（御部ダム）に参加（御部発電所 460kW）
 - 57. 4 八戸川第一発電所2号機竣工運転開始（出力1,500kW）
 - 4 八戸川第一発電所認可出力変更（6,000kW→6,300kW）
 - 6 飯梨川水道（拡張分）八束町へ給水開始
 - 58. 4 江島工業団地分譲開始
 - 7 58年7月豪雨災害（八戸川発電所・三隅川発電所（矢原川））罹災
 - 59. 4 笠柄地区宅地造成工事着手
 - 4 江津地域拠点工業団地分譲開始
 - 7 飯梨川水道（拡張分）安来市へ給水開始
 - 60. 4 江の川水道事務所を開設
 - 4 江の川水道給水開始（江津市、大田市、温泉津町、仁摩町）
 - 61. 2 御部発電所建設着工
 - 4 企業局の組織を改め本局に総務課、工務課を置く。
 - 62. 4 志津見ダム建設事業に参加（神戸川工業用水 30,000m³/日）
 - 63. 3 笠柄地区宅地造成工事概成
 - 4 企業局の組織を改め、工務課を業務課と改称
 - 4 笠柄地区宅地概成地を住宅供給公社に引継
 - 7 63年7月豪雨災害（八戸川発電所・浜田川発電所）罹災
- 平成元. 3 飯梨川第三発電所建設着工
- 2. 4 御部発電所竣工運転開始（出力460kW）
 - 3. 4 飯梨川第三発電所竣工運転開始（出力250kW）
 - 5. 2 尾原ダム建設事業に参加（斐伊川水道 35,400m³/日）
 - 3 浜田川総合開発事業（第二浜田ダム）に参加（新浜田川発電所 560kW）
 - 4 企業局の組織を改め、本局業務課建設係を建設第一係、建設第二係に改組
 - 6. 4 斐伊川水道建設事務所を開設
 - 7 旭拠点工業団地造成事業に着手
 - 7～9 異常渇水により飯梨川都市用水給水制限（10～20%）
 - 7. 3 J A おおち及び J A 那賀みどりから勝地川発電所を譲受
 - 4 企業局の組織を改め、本局に総務課、経営課、開発課を置く。
 - 4 勝地川発電所（140kW）運転開始
 - 8. 4 企業局の組織を改め、5発電所・2水道事務所を2管理事務所（東部事務所・西部事務所）に集中化
 - 4 発電集中制御運用開始
 - 8 江の川工業用水道給水開始
 - 9. 3 旭拠点工業団地第1工区造成工事竣工
 - 4 旭拠点工業団地第1工区分譲開始
 - 7 病原性原虫対策のため、飯梨川水道全量を暫定的に拡張分設備で送水開始
 - 10. 1 八雲村特例給水開始
 - 3 勝地川発電所廃止及び勝地発電所建設着工
 - 3 旭拠点工業団地第2工区造成工事竣工
 - 4 旭拠点工業団地第2工区分譲開始

- 12. 4 飯梨川水道（第2期拡張分）供用開始
 - 8 企業局40周年記念事業実施
 - 10 勝地発電所運転開始（出力770kW）
 - 10 八戸川第三発電所運転開始（出力240kW）
- 13. 4 玉湯町特例給水開始
 - 5 志津見ダム基本計画が変更され、工業用水を減量（神戸川工業用水 30,000 m³/日→10,000m³/日）し、電気事業が参加（志津見発電所 1,700kW）
- 14. 9 隠岐大峯山風力発電所建設着工
- 16. 2 隠岐大峯山風力発電所運転開始
 - 4 企業局の組織を改め、斐伊川水道建設事務所を廃止し、開発課へ統合
- 17. 3 旭拠点工業団地へ矯正施設の誘致が決定
 - 6 異常渇水により飯梨川都市用水給水制限（10%）
 - 9 宍道湖湖底管敷設工事着工
- 18. 3 島根県企業局経営計画（平成18年度～22年度）の策定
 - 10 旭拠点工業団地用地を法務省へ売却
- 19. 2 江津高野山風力発電所建設着工
 - 4 企業局の組織を改め、開発課を施設課と改称
 - 8 志津見発電所建設着工
- 21. 2 江津高野山風力発電所運転開始
- 22. 3 八戸川工業用水道事業を一般会計へ移管
- 23. 3 島根県企業局経営計画（平成23年度～27年度）の策定
 - 4 志津見発電所竣工運転開始（出力1,700kW）
 - 4 斐伊川水道給水開始（松江市、出雲市、雲南市、東出雲町）
- 24. 3 神戸川工業用水道事業を一般会計へ移管
- 25. 7 江津浄水場太陽光発電所建設着工
- 26. 3 江津浄水場太陽光発電所運転開始（出力430kW）
- 27. 3 浜田川発電所廃止
 - 5 石見空港太陽光発電所建設着工
 - 6 三隅港臨海工業団地太陽光発電所建設着工
 - 7 江津地域拠点工業団地太陽光発電所建設着工
- 11 三成ダム土木遺産に認定
- 28. 3 三隅港臨海工業団地太陽光発電所運転開始（出力1,800kW）
 - 3 江津地域拠点工業団地太陽光発電所運転開始（出力1,200kW）
 - 3 島根県企業局経営計画（平成28年度～37年度）の策定
 - 3 江の川水道送水設備の一部を受水団体へ移管
 - 4 施設課に発電事業推進室を設置
 - 4 八戸川第二発電所リニューアル竣工運転開始

2. 企業局の組織

(1) 組織図

(H28.4現在)



(2) 所在地

本局	〒690-8501 松江市殿町8番地（県庁南庁舎2階）	TEL 0852-22-5673(代) FAX 0852-22-5679
東部事務所	〒692-0002 安来市上坂田町545-1	TEL 0854-22-2748(代) FAX 0854-22-5460
斐伊川水道課	〒699-1122 雲南市加茂町三代96-2	TEL 0854-49-9191(代) FAX 0854-49-9190
西部事務所	〒699-2837 江津市松川町上河戸703	TEL 0855-57-0221(代) FAX 0855-57-0049

3. 職 員 配 置

(H28. 4. 1現在)

職 種 所 属	事務 職員	技 術 職 員				技 術 員		合計
		土木	電気	化学	小計	管理技師	小計	
局長・技監	1	1			1			2
本 局 総務課	9		1		1			10
経営課	6		2		2			8
施設課		3	8		11			11
計	16	4	11		15			31
東 部 事 務 所	3	2	24	2	28			31
西 部 事 務 所	3	2	12	1	15			18
合 計	22	8	47	3	58	0	0	80

4. 決算状況

平成27年度決算総括表

(単位：千円)

会計科目	電気事業会計	工業用水道事業会計	水道事業会計	宅地造成事業会計	合計
(収益の部)					
営業収益	1,908,763	180,184	1,676,490	24,197	3,789,634
財務収益	5,670	0	0	0	5,670
営業外収益(※1)	145,149	27,501	376,072	1,723	550,445
特別利益	72,772	0	395,352	0	468,124
計	2,132,354	207,685	2,447,914	25,920	4,813,873
(費用の部)					
営業費用	1,814,237	154,815	1,749,497	54,566	3,773,115
財務費用	42,704	0	0	0	42,704
営業外費用(※2)	6,420	9,437	187,117	287	203,261
特別損失	78,271	0	1,332,148	0	1,410,419
計	1,941,632	164,252	3,268,762	54,853	5,429,499
当年度純利益	190,722	43,433	—	—	234,155
当年度純損失	—	—	820,848	28,933	849,781
(資産の部)					
固定資産	11,582,495	1,922,400	38,851,064	0	52,355,959
宅地造成	—	—	—	1,519,859	1,519,859
流動資産	3,448,383	339,196	1,595,539	177,492	5,560,610
資産合計	15,030,878	2,261,596	40,446,603	1,697,351	59,436,428
(負債の部)					
固定負債	4,914,567	2,513,698	10,434,110	1,373,468	19,235,843
流動負債	1,289,177	169,147	849,647	81	2,308,052
繰延収益	1,922,048	549,130	12,083,566	0	14,554,744
負債合計	8,125,792	3,231,975	23,367,323	1,373,549	36,098,639
(資本の部)					
繰入資本金	4,671	60,901	12,172,394	0	12,237,966
組入資本金	5,586,389	337,223	5,289,149	303,683	11,516,444
計	5,591,060	398,124	17,461,543	303,683	23,754,410
資本剰余金	1,283	37,641	393,647	30,356	462,927
利益剰余金	1,312,743	△ 1,406,144	△ 775,910	△ 10,237	△ 879,548
計	1,314,026	△ 1,368,503	△ 382,263	20,119	△ 416,621
資本合計	6,905,086	△ 970,379	17,079,280	323,802	23,337,789
負債・資本合計	15,030,878	2,261,596	40,446,603	1,697,351	59,436,428

(※1) 電気事業会計は事業外収益

(※2) 電気事業会計は事業外費用

5. 平成28年度当初予算の概要

(1) 電気事業会計

(単位：千円)

区 分		平成28年度 当初予算	平成27年度 当初予算	増 減	平成28年度当初予算の内訳
収 益 的 収 入 ・ 支 出	電気事業収益	2,671,387	2,410,129	261,258	
	営業収益	2,256,439	2,117,647	138,792	電気料金(風力・水力・太陽光)ほか
	財務収益	4,820	4,368	452	受取利息
	事業外収益	263,128	288,114	△ 24,986	雑収益
	特別利益	147,000	0	147,000	建物共済災害共済金
	電気事業費用	2,375,865	1,958,049	417,816	
	営業費用	2,244,258	1,830,083	414,175	発電所管理費ほか
	財務費用	48,496	42,835	5,661	支払利息
	事業外費用	2,840	4,860	△ 2,020	風力発電所周辺地域 活性化支援事業
	特別損失	78,271	78,271	0	退職給付引当金経過措置
予備費	2,000	2,000	0		
当期損益 (消費税除く)		68,513	170,170	△ 101,657	
資 本 的 収 入 ・ 支 出	資本的収入	2,698,268	3,199,119	△ 500,851	
	企業債	2,633,000	3,134,000	△ 501,000	水力発電設備建設改良事業債
	投資回収金	65,268	65,119	149	長期貸付金返還金
	資本的支出	3,600,693	4,144,943	△ 544,250	
	建設改良費	3,036,747	3,568,568	△ 531,821	発電所改良費
	企業債償還金	358,946	356,375	2,571	
繰出金	200,000	215,000	△ 15,000	一般会計繰出金	
予備費	5,000	5,000	0		
収 支 差 (補填)		△ 902,425	△ 945,824	43,399	

(2) 工業用水道事業会計

(単位：千円)

区 分		平成28年度 当初予算	平成27年度 当初予算	増 減	平成28年度当初予算の内訳
収 益 的 収 入 ・ 支 出	工業用水道事業収益	227,669	271,105	△ 43,436	
	営 業 収 益	191,792	195,169	△ 3,377	給水収益ほか
	営 業 外 収 益	35,877	75,936	△ 40,059	受取利息、県費補助金ほか
	工業用水道事業費用	206,935	269,325	△ 62,390	
	営 業 費 用	197,329	259,230	△ 61,901	管理経費ほか
	営 業 外 費 用	9,606	10,095	△ 489	支払利息
	当 期 損 益 (消費税除く)	8,071	△ 16,185	24,256	
資 本 的 収 入 ・ 支 出	資本的収入	172,700	230,985	△ 58,285	
	企 業 債	158,000	224,200	△ 66,200	
	長 期 借 入 金	14,700	6,785	7,915	一般会計借入金
	資本的支出	239,606	303,141	△ 63,535	
	建 設 改 良 費	170,944	242,601	△ 71,657	江の川工業用水道営業設備 費ほか
	企 業 債 償 還 金	68,662	60,540	8,122	
	長 期 借 入 金 償 還 金	0	0	0	
	収 支 差 (補 填)	△ 66,906	△ 72,156	5,250	

(3) 水道事業会計

(単位：千円)

区 分		平成28年度 当初予算	平成27年度 当初予算	増 減	平成28年度当初予算の内訳
収 益 的 収 入 ・ 支 出	水道事業収益	2,302,082	2,563,086	△ 261,004	
	営 業 収 益	1,803,315	1,806,318	△ 3,003	給水収益ほか
	営 業 外 収 益	498,767	386,453	112,314	長期前受金戻入ほか
	特 別 収 益	0	370,315	△ 370,315	
	水道事業費用	2,245,692	3,523,218	△ 1,277,526	
	営 業 費 用	1,825,686	1,932,141	△ 106,455	管理経費ほか
	営 業 外 費 用	420,006	288,115	131,891	支払利息ほか
特 別 損 失	0	1,302,962	△ 1,302,962		
	当 期 損 益 (消費税除く)	41,846	△ 960,132	1,001,978	
資 本 的 収 入 ・ 支 出	資本的収入	163,400	138,100	25,300	
	企 業 債	156,400	132,000	24,400	
	出 資 金	7,000	6,100	900	県費出資金
	資本的支出	902,906	868,830	34,076	
	建 設 改 良 費	196,420	175,312	21,108	
	企 業 債 償 還 金	584,636	571,919	12,717	
長 期 借 入 金 償 還 金	121,850	121,599	251	県費借入金償還金ほか	
	収 支 差 (補 填)	△ 739,506	△ 730,730	△ 8,776	

(4) 宅地造成事業会計

(単位：千円)

区 分		平成28年度 当初予算	平成27年度 当初予算	増 減	平成28年度当初予算の内訳
収益的 収入・ 支出	土地造成事業収益	67,814	63,175	4,639	
	営業収益	67,076	60,986	6,090	宅地売却収益ほか
	営業外収益	738	2,189	△ 1,451	受取利息ほか
	土地造成事業費用	78,663	75,099	3,564	
	営業費用	78,129	72,822	5,307	宅地売却原価ほか
	営業外費用	534	2,277	△ 1,743	雑支出
	当期損益	△ 10,849	△ 11,924	1,075	
資本的 収入・ 支出	資本的収入	0	0	0	
	長期借入金	0	0	0	
	資本的支出	51,922	26,328	25,594	
	土地造成費	51,922	26,328	25,594	江島工業団地造成事業費ほか
	長期借入金償還金	0	0	0	
	収支差(補填)	△ 51,922	△ 26,328	△ 25,594	

附表

ダム費用負担割合表

(単位：%)

負担者 ダム名	島根県企業局			島根県	国 (含その他)	
	計	電気	工業用水道			水道
三成ダム	21.50	21.50	—	—	78.50	—
八戸ダム	6.55	1.50	3.45	1.60	93.45	—
木都賀ダム	79.90	79.90	—	—	20.10	—
布部ダム	18.30	1.60	11.91	4.79	81.70	—
山佐ダム	28.10	—	—	28.10	71.90	—
御部ダム	0.30	0.30	—	—	99.70	—
志津見ダム	0.40	0.40	—	—	2.70	96.90
尾原ダム	5.00	—	—	5.00	—	95.00

電 氣 事 業

【電 気 事 業】

1. 事業の概要

島根県の電気事業は、戦後復興期の電力増強の要請に応じるため、昭和26年、土木部砂防電気課において砂防事業と共同で三成発電所を建設したことを始まりとしている。

以後、河川総合開発事業に参画した新規エネルギー開発や既設ダム及び既設発電所の未利用エネルギー活用に積極的に取り組んできた。その後、風力及び太陽光発電にも着手し、いわゆる再生可能エネルギーの取り組みを広げてきている。

水力発電については、現在、12水力発電所、最大出力26,950 kWで営業運転を行っている。

また、老朽化した既設水力発電所のリニューアル計画を策定し、平成26年度から更新工事に着手している。

風力発電については、平成16年2月から隠岐大峯山風力発電所を、平成21年2月から地方公共団体としては国内最大規模となる9基合計出力20,700kWの江津高野山風力発電所の営業運転を行っている。

太陽光発電については、平成26年3月から最大出力430kWの江津浄水場太陽光発電所を、平成28年3月から最大出力1,800kWの三隅港臨海工業団地太陽光発電所及び最大出力1,200kWの江津地域拠点工業団地太陽光発電所の営業運転を行っており、平成27年5月から石見空港太陽光発電所の建設にも着手している。

なお、平成24年7月に「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」が施行（再生エネルギーの固定価格買い取り制度創設）されたことから、同制度を活用し、増収を図っている。

2. 供給電力量の状況

(単位：MWh)

区分 発電所名	平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度
	供給電力量	目標電力量	比率(%)	供給電力量	目標電力量	比率(%)	供給電力量	目標電力量	比率(%)	目標電力量
三 成	16,493	15,301	107.8	16,800	15,301	109.8	15,493	15,061	102.9	7,290
飯 梨 川 第 一	14,504	14,363	101.0	16,089	14,363	112.0	13,063	13,543	96.5	6,646
飯 梨 川 第 二	7,115	6,807	104.5	8,045	6,807	118.2	6,531	6,510	100.3	3,226
飯 梨 川 第 三	1,634	1,510	108.2	1,613	1,510	106.8	1,477	1,518	97.3	1,518
志 津 見	12,870	7,972	161.4	12,975	7,972	162.8	13,417	7,972	168.3	7,972
八 戸 川 第一・第二・第三	48,666	42,541	114.4	23,693	42,541	55.7	19,273	42,573	45.3	33,568
勝 地	2,225	3,245	68.6	3,331	3,245	102.7	2,641	3,219	82.0	3,219
浜 田 川	8,626	8,257	104.5	7,446	8,257	90.2	—	—	—	—
三 隅 川	39,692	34,848	113.9	37,747	34,848	108.3	34,670	34,088	101.7	34,088
御 部	2,508	2,235	112.2	2,252	2,235	100.8	1,728	2,154	80.2	2,154
矢 原 川	553	564	98.0	547	564	97.0	425	493	86.2	493
水力発電合計	154,886	137,643	112.5	130,538	137,643	94.8	108,718	127,131	85.5	100,174
隠岐大峯山	2,037	4,181	48.7	3,222	4,181	77.1	2,400	4,181	57.4	3,524
江津高野山	29,532	34,772	84.9	26,979	34,772	77.6	23,192	34,772	66.7	30,774
風力発電合計	31,569	38,953	81.0	30,201	38,953	77.5	25,592	38,953	65.7	34,298
江津浄水場	27	36	75.0	504	437	115.3	486	436	111.5	437
三隅港臨海工業団地	—	—	—	—	—	—	238	300	79.3	2,036
江津地域拠点工業団地	—	—	—	—	—	—	168	212	79.2	1,482
石見空港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	342
太陽光発電合計	27	36	75.0	504	437	115.3	892	948	94.1	4,297

1. 八戸川第一、第二、第三発電所は一括計量
2. 江津浄水場太陽光発電所は平成26年3月から運転開始
3. 三隅港臨海工業団地及び江津地域拠点工業団地太陽光発電所は平成28年3月から運転開始
4. 石見空港太陽光発電所は平成29年3月から運転開始予定
5. 平成28年度の目標電力量はリニューアル工事に伴う停止時間を反映
6. 浜田川発電所は平成27年3月31日に廃止

3. 営業収支の状況

(単位：千円)

科 目	平成25年度	平成26年度	平成27年度
営 業 収 益 (うち料金収入)	2,133,341 (2,128,338)	2,100,775 (2,096,010)	1,908,763 (1,902,939)
財 務 収 益	4,560	4,879	5,670
事 業 外 収 益	95,463	240,275	145,149
特 別 利 益	2,192	385,229	72,772
計	2,235,556	2,731,158	2,132,354
営 業 費 用	1,698,068	1,665,925	1,814,237
財 務 費 用	53,851	47,921	42,704
事 業 外 費 用	37,110	34,631	6,420
特 別 損 失	5,614	162,572	78,271
計	1,794,643	1,911,049	1,941,632
当 年 度 純 利 益	440,913	820,109	190,722
前年度繰越利益剰余金	0	0	0
その他未処分利益剰余金変動額	—	196,267	363,968
当年度未処分利益剰余金	440,913	1,016,376	554,690

4. 発電所一覧表

(1) 水力発電所

発電所名		三成発電所	飯梨川第一発電所	飯梨川第二発電所	飯梨川第三発電所	志津見発電所		
事項								
発電所位置		仁多郡奥出雲町 三成1394の3	安来市広瀬町 布部458	安来市広瀬町 菅原695の7	安来市広瀬町 布部2009	飯石郡飯南町 角井1895の3		
要	使用河川名	斐伊川水系斐伊川	斐伊川水系飯梨川	斐伊川水系飯梨川	斐伊川水系飯梨川	斐伊川水系神戸川		
	認可最大出力	2,830(kW)	3,000(kW)	1,400(kW)	250(kW)	1,700(kW)		
	常時尖頭出力	2,670(kW)	2,500(kW)	1,400(kW)	—	—		
	常時出力	950(kW)	800(kW)	380(kW)	50(kW)	380(kW)		
	発電型式	ダム水路式	ダム水路式	水路式	ダム式	ダム式		
	最大有効落差	58.76(m)	98.75(m)	46.43(m)	42.40(m)	42.40(m)		
	最大使用水量	6.00 (m ³ /s)	3.70 (m ³ /s)	3.70 (m ³ /s)	0.80 (m ³ /s)	5.00 (m ³ /s)		
目	送電系統	三成送電線を経て 北原線(66kV)に 接続	飯梨川線、菅原連 絡線(66kV)を経て 菅原変電所に接続	菅原連絡線(66kV) を経て菅原変電所 に接続	比田線、坊床支線 布部ダム線(6.6kV) に接続	田儀線(6.6kV)に 接続		
	運転開始年月日	昭和29年6月1日 (S28.10.15 一部運転)	昭和43年4月1日 (S42.12.1 一部運転)	昭和43年11月1日	平成3年4月26日	平成23年4月26日		
	制御方式	遠方監視制御	遠方監視制御	遠方監視制御	遠方監視制御	遠方監視制御		
土木 工作 物	貯水池	全容量	3,438(千m ³)	7,100(千m ³)	飯梨川第一発電所 放水口から取水	7,100(千m ³)	50,600(千m ³)	
		有効容量	1,138(千m ³)	5,000(千m ³)		5,000(千m ³)	46,600(千m ³)	
		利用水深	6.50(m)	16.40(m)		16.40(m)	13.40(m)	
		湛水面積	316,000(m ²)	386,000(m ²)		386,000(m ²)	2,300,000(m ²)	
	ダム	型式 (ダム名)	アーチ式コンクリートダム (三成ダム)	重力式コンクリートダム (布部ダム)	—	重力式コンクリートダム (布部ダム)	重力式コンクリートダム (志津見ダム)	
		頂長及び高さ	109.72 42.0(m)	190.00 55.9(m)	—	190.00 55.9(m)	266.00 85.5(m)	
	導水路	総延長	2,292.168(m)	3,161.000(m)	3,017.528(m)	—	—	
		種類及び構造	圧力隧道(馬蹄型)	圧力隧道(馬蹄型)	無圧隧道、暗渠	—	—	
	水鉄 圧管	径	上部1.8m 下部1.2m	上部1.35m 下部 0.85m	内径1.35~1.00(m)	内径0.70~0.47(m)	内径1,600~1,200(mm)	
		延長	103.430(m)	223.420(m)	100.405(m)	73.095(m)	122.73 (m)	
主要 機器	水車	種類	フランシス水車	フランシス水車	フランシス水車	フランシス水車	フランシス水車	
		型式	縦軸単輪単流渦巻型	縦軸単輪単流渦巻型	横軸単輪単流渦巻型	横軸単輪単流渦巻型	横軸単輪複流渦巻型	
		最大出力	3,150(kW)	3,150(kW)	1,475(kW)	275(kW)	1,800(kW)	
		使用水量	6.00(m ³ /s)	3.70(m ³ /s)	3.70(m ³ /s)	0.80(m ³ /s)	5.00(m ³ /s)	
	回転数	600(rpm)	720(rpm)	720(rpm)	900(rpm)	600(rpm)		
	発電機	種類	交流三相同期発電機	交流三相同期発電機	交流三相誘導発電機	交流三相誘導発電機	交流三相同期発電機	
		型式	縦軸回転界磁型	縦軸回転界磁型	横軸籠型回転子型	横軸籠型回転子型	横軸回転界磁型	
変圧器容量	3,500(kVA)	3,500(kVA)	1,600(kVA)	—	—			
当初建設費		394,027(千円)	538,841(千円)	307,000(千円)	232,251(千円)	1,371,786(千円)		
建設 費 内 訳	共同 事業 費	電気事業	48,404(千円)	21,000(千円)	—	10,166(千円)	620,238(千円)	
		治水事業	—	1,327,000(千円)	—	—	140,464,762(千円)	
		砂防事業	123,919(千円)	—	—	—	—	
	専 施 設 用 費	都 用 市 水	上水事業	—	78,000(千円)	—	—	—
			下水事業	—	194,000(千円)	—	—	3,915,000(千円)
			電気事業	345,623(千円)	517,841(千円)	307,000(千円)	222,085(千円)	751,548(千円)
都 用 市 水	上水事業	—	557,870(千円)	—	—	—		
下水事業	—	759,228(千円)	—	—	—			
主要機器納入会社		(株) 東芝	(株) 日立製作所	川崎電機製造(株)	イーモル工業(株)	イーモル工業(株)		

事項	発電所名		八戸川第二発電所	八戸川第三発電所	勝地発電所			
	八戸川第一発電所							
		1号機	2号機					
発電所位置		江津市桜江町江尾104の2		江津市桜江町八戸1661の7	江津市桜江町八戸1661の9	江津市桜江町八戸1216の4		
要目	使用河川名	江の川水系八戸川及び八戸川支流家古屋川		江の川水系八戸川	江の川水系八戸川	江の川水系八戸川支流家古屋川		
	認可最大出力	5,600(5,300)(kW)	1,500(1,000)(kW)	2,500(kW)	240(kW)	770(kW)		
	常時尖頭出力	4,600(kW)	—	710(kW)	—	—		
	常時出力	570(kW)	—	270(kW)	159(kW)	—		
	発電型式	水路式	水路式	ダム式	ダム式	水路式		
	最大有効落差	65.21(63.38)(m)	68.87(62.21)(m)	30.00(m)	54.50(m)	33.20(m)		
	最大使用水量	10.50(10.00)(m ³ /s)	2.75(2.00)(m ³ /s)	10.00(m ³ /s)	0.60(m ³ /s)	3.00(m ³ /s)		
	送電系統	八戸川送電線を経て桜江矢上線(66kV)に接続	1号機母線(6.6kV)を経て八戸川送電線(66kV)に接続	新八戸川送電線を経て八戸川送電線(66kV)に接続	連絡送電線、第二発電所母線(3.3kV)を経て新八戸川送電線(66kV)に接続	今市線(6.6kV)に接続		
	運転開始年月日	昭和33年1月1日 (S51.4.1 出力変更) (S57.4.1 出力変更)	昭和57年4月1日	昭和51年4月1日 (H28.4.2 リニューアル)	平成12年10月1日	平成12年10月1日		
	制御方式	遠方監視		遠方監視制御	遠方監視制御	遠方監視制御		
土木工作物	貯水池	全容量	八戸川第二発電所		(流込式)	26,800(千m ³)	26,800(千m ³)	(流込式)
		有効容量	—		—	23,200(千m ³)	23,200(千m ³)	—
		利用水深	放水池より取水		—	21.60(m)	21.60(m)	—
		湛水面積	—		—	1,282,000(m ²)	1,282,000(m ²)	—
	ダム	型式 (ダム名)	重力式コンクリートダム (家古屋川勝地取水堰堤)		重力式コンクリートダム (八戸ダム)	重力式コンクリートダム (八戸ダム)	重力式コンクリートダム (砂防堰堤)	
		頂長及び高さ	44.70 4.4(m)		151.00 72.0(m)	151.00 72.0(m)	44.10 11.6(m)	
	導水路	総亘長	7,538.595(m)		—	—	955.3(m)	
		種類及び構造	圧力隧道(馬蹄型)	無圧隧道(直壁円弧型)	—	—	暗渠(矩型) 無圧隧道(馬蹄型)	
	水鉄圧管	径	上部2.0m 下部1.8m	上部1.2m 下部0.8m	内径2.3(m)	内径500~400(mm)	内径1,200~750(mm)	
		延長	103.302(m)	17.431(m)	50.49(m)	58.842(m)	水圧鉄管44.9(m) 余水管41.3(m)	
主要機器	水車	種類	フランシス水車	フランシス水車	フランシス水車	フランシス水車	フランシス水車	
		型式	縦軸単輪単流渦巻型	横軸単輪単流渦巻型	横軸二輪単流横口双子型	横軸単輪単流渦巻型	横軸単輪複流渦巻型	
		最大出力	6,000(kW)	1,530(kW)	2,650(kW)	261(kW)	820(kW)	
		使用水量	12.00(m ³ /s)	2.75(m ³ /s)	10.00(m ³ /s)	0.60(m ³ /s)	3.00(m ³ /s)	
		回転数	514(rpm)	900(rpm)	365(rpm)	1,200(rpm)	720(rpm)	
	発電機	種類	交流三相同期発電機	交流三相誘導発電機	交流三相誘導発電機	交流三相誘導発電機	交流三相同期発電機	
		型式	縦軸回転界磁型	横軸籠型回転子型	横軸出口管通風型	横軸空冷自由通風型	横軸回転界磁出口管通風型	
		定格出力	6,500(kVA)	1,500(kW)	2,500(kW)	240(kW)	855(kVA)	
	変圧器容量	7,500(kVA)		3,000(kVA)	—	—		
	当初建設費		980,120(千円)	355,600(千円)	1,042,170(千円)	281,419(千円)	1,284,445(千円)	
建設費内訳	共同事業費	電気事業	116,328(千円)	—	123,834(千円)	32,715(千円)	—	
		治水事業	—	—	6,118,020(千円)	70,947(千円)	—	
		砂防事業	95,670(千円)	—	—	—	—	
		都市水	上水事業	—	—	36,900(千円)	—	—
	下水事業	—	—	114,380(千円)	—	—		
	専施設費用	電気事業	863,792(千円)	355,600(千円)	918,336(千円)	248,704(千円)	1,284,445(千円)	
		都市水	上水事業	—	—	—	—	—
下水事業		—	—	—	—	—		
主要機器納入会社		三菱電機(株)	イーモル工業(株)	イーモル工業(株) (株)明電舎	イーモル工業(株)	イーモル工業(株)		

事項		発電所名			
		三隅川発電所	御部発電所	矢原川発電所	
発電所位置		浜田市三隅町 下古和1040の2	浜田市三隅町 上古和913の13	益田市美都町 宇津川ハ1409の1	
要 目	使用河川名	三隅川水系三隅川	三隅川水系三隅川	三隅川水系矢原川	
	認可最大出力	7,400(kW)	460(kW)	100(kW)	
	常時尖頭出力	7,000(kW)	—	—	
	常時出力	2,000(kW)	180(kW)	70(kW)	
	発電型式	ダム水路式	ダム式	水路式	
	最大有効落差	193.50(m)	29.76(m)	29.79(m)	
	最大使用水量	4.70 (m ³ /s)	2.00 (m ³ /s)	0.50 (m ³ /s)	
	送電系統	三隅川送電線を経 て東益田三隅 線(66kV)に接続	上古和線(6.6kV) に接続	上古和線(6.6kV) に接続	
	運転開始年月日	昭和36年4月14日	平成2年4月26日	昭和36年9月16日	
	制御方式	遠方監視制御	遠方監視制御	遠方監視制御	
土 木 工 作 物	貯水池	全容量	2,526(千m ³)	16,800(千m ³) (流込式)	
		有効容量	1,558(千m ³)	15,500(千m ³)	
		利用水深	10.00(m)	9.60(m)	
		湛水面積	207,000(m ²)	1,040,000(m ²)	
	ダム	型式 (ダム名)	重力式コンクリートダム (木都賀ダム)	重力式コンクリートダム (御部ダム)	重力式コンクリートダム (矢原川取水堰)
		頂長及び高さ	98.00 39.00 (m)	177.00 63.0(m)	32.25 5.5(m)
	導水路	総 亘 長	6,298.422(m)	—	1,063.772(m)
		種類及び構造	圧力隧道(馬蹄型)	—	蓋渠、水路橋
	水鉄 圧管	径	上部1.6m 下部1.2m	内径1.20~0.80(m)	上部0.57m 下部0.47m
		延長	495.830(m)	95.367(m)	41.737(m)
主 要 機 器	水 車	種 類	フランシス水車	フランシス水車	フランシス水車
		型 式	縦軸単輪単流渦巻型	横軸単輪単流渦巻型	横軸単輪単流渦巻型
		最大出力	7,820(kW)	490(kW)	112(kW)
		使用水量	4.70(m ³ /s)	2.00(m ³ /s)	0.50(m ³ /s)
		回転数	900(rpm)	720(rpm)	900(rpm)
	発 電 機	種 類	交流三相同期発電機	交流三相誘導発電機	交流三相誘導発電機
		型 式	縦軸回転界磁型	横軸籠型回転回磁型	横軸籠型開放直結型
		定格出力	8,700(kVA)	460(kW)	100(kW)
	変 圧 器 容 量	8,700(kVA)	—	—	
	当初建設費		1,153,288(千円)	535,123(千円)	19,260(千円)
建 設 費 内 訳	共同 事業 費	電気事業	278,620(千円)	61,722(千円)	1,041(千円)
		治水事業	—	20,576,400(千円)	—
		砂防事業	69,386(千円)	—	3,706(千円)
	都 用 市 水	上水事業	—	—	—
		工水事業	—	—	—
	専 施 設 費 用 費	電気事業	874,668(千円)	473,401(千円)	18,219(千円)
都 用 市 水		上水事業	—	—	—
	工水事業	—	—	—	
主要機器納入会社		(株)日立製作所	イームル工業(株)	東洋電機(株) (株)荏原製作所	

(2) 風力発電所

発電所名		隠岐大峯山風力発電所	江津高野山風力発電所
発電所位置		隠岐郡隠岐の島町 西村字大峯 902	江津市二宮町、敬川町、千田町
要目	認可最大出力	1,800kW (600kW×3基)	20,700kW (2,300kW×9基)
	年間平均風速	7.1m/s (地上30m)	6.1m/s (地上80m)
	送電系統	五箇線 (6.6kV) に接続	金城江津線 (66kV) に接続
	運転開始年月日	平成16年2月1日	平成21年2月1日
	制御方式	遠方監視制御	遠方監視制御
タワー	種類・構造	テーパーモノポール	モノポール
	タワー高さ	47.55m	76.9m
	タワー直径	下部φ3.3m・上部φ2.2m	下部φ4.30m・上部φ2.96m
	タワー重量	66.0t	194.3t
風車・発電機	風車種別	3枚翼プロペラ型 アップウインド式	水平軸プロペラ型 アップウインド式
	ハブ高さ	50.0m	80.0m
	ナセル重量	24.0t	91.2t
	カットイン風速	2.5m/s	3.0m/s
	定格風速	11.5m/s	13.0m/s
	カットアウト風速	22.0m/s	25.0m/s
	復帰風速	18.0m/s	22.0m/s
	耐風速	60.0m/s	70.0m/s
	発電機種別	交流励磁同期発電機 (超同期セルビウス式)	巻線型誘導発電機
	定格出力	600kW (1台あたり)	2,300kW (1台あたり)
ローターブレード	ローター直径	45.8m	90.0m
	ローター回転数	14~20rpm (可変速運転)	9.8~18.2rpm (可変速運転)
	ブレード材質	GFRP	GFRP
	ブレード重量	1.6t/枚	10.8t/枚
	制御方式	フルスパンピッチ制御方式	フルスパンピッチ制御方式
変圧器容量		700kVA×3台 (風車用)	20,700kVA×1台 (連系用) 2,300kVA×9台 (風車用)
当初建設費		855,301千円	6,288,191千円
主要機器納入会社		岩谷産業(株)	(株)IHI

(3) 太陽光発電所

発 電 所 名		江津浄水場 太陽光発電所	三隅港臨海工業団地 太陽光発電所	江津地域拠点工業団地 太陽光発電所
発 電 所 位 置		江津市松川町 上河戸 703	浜田市三隅町 岡見 6323-2, 7, 9, 10	江津市松川町 上河戸 390-17
要 目	認 可 最 大 出 力	430kW	1,800kW	1,200kW
	送 電 系 統	松山線 (6.6kV) に 接続	古市場線 (6.6kV) に 接続	渡津線 (6.6kV) に 接続
	運 転 開 始 年 月 日	平成 26 年 3 月 14 日	平成 28 年 3 月 1 日	平成 28 年 3 月 1 日
	制 御 方 式	随時監視	随時監視	随時監視
太 陽 電 池 モジュール	太 陽 電 池 種 類	多結晶シリコン	多結晶シリコン	多結晶シリコン
	定 格 出 力	447kW (242W×1,848 枚)	1,937kW (260W×7,452 枚)	1,435kW (260W×5,520 枚)
	最 大 出 力	447kW	1,937kW	1,435kW
パワコン デバイス	定 格 出 力	250kW×2 台	600kW×3 台	600kW×2 台
	定 格 容 量	250kVA×2 台	600kVA×3 台	600kVA×2 台
変 圧 器 容 量		300kVA×2 台	600kVA×3 台	600kVA×2 台
当 初 建 設 費		174,640 千円	733,366 千円	548,503 千円
主 要 機 器 納 入 会 社		京セラ(株)	京セラ(株)	京セラ(株)

工業用水道事業

【工業用水道事業】

1. 事業の概要

(1) 飯梨川工業用水道事業

県は、昭和34年8月の集中豪雨による水害を契機に、県東部を流れる飯梨川の洪水の調節、下流地域への工業用水及び水道用水の供給、並びに発電所建設による電力供給を目的として、飯梨川に布部ダムを建設する飯梨川総合開発事業を計画し、昭和38年4月に着工、昭和43年3月に完成した。

このダムを水源とする工業用水道事業は、当初計画では既存の工場や中海新産業都市区域の誘致工場へ日量50,000 m³給水する計画であったが、社会経済情勢の変動により昭和42年12月に給水量を工水日量34,000 m³、上水日量16,000 m³（布部系）に変更し、昭和44年6月から給水を行った。その後、水道事業の第一次拡張（山佐系）・第二次拡張（斐伊川）を経て布部系送水施設については上水道目的での使用の見込みがなくなったことから、平成23年7月から送水施設を工業用水道事業に専用化した。

(2) 江の川工業用水道事業

県の中央部を流れる江の川水系八戸川に昭和51年3月建設された八戸ダムには、日量230,000 m³（工水日量203,000 m³、上水日量27,000 m³）の都市用水が確保されており、昭和55年度から上水、工水の共同事業として工水日量50,000 m³、上水日量27,000 m³について建設工事に着手した。

工業用水道事業は、江津市浅利町、松川町に位置する江津地域拠点工業団地への進出企業に日量50,000 m³の工業用水を供給しようとするもので、このうち一期計画として日量15,000 m³の基幹施設を完了し、平成8年8月から給水を行っている。

2. 給水計画

平成28年度給水計画

(1) 飯梨川工業用水道事業

(平成28年4月1日現在)

給水開始	昭和44年6月
給水能力	34,000m ³ /日
売水量	20,040m ³ /日(施設利用率58.9%)
料金 平成21年 10月1日改定	次の区分により算定した額に1.08を乗じて得た額 基本料金 1 m ³ 当たり 17円50銭 特定料金 1 m ³ 当たり 17円50銭 超過使用料金 1 m ³ 当たり 35円
売水先 29企業 (30事業所)	日立金属(株)安来工場 14,500m ³ /日 リョーノファクトリー(株) 1,260m ³ /日 その他28企業 4,280m ³ /日

(2) 江の川工業用水道事業

給水開始	平成8年8月
給水能力	50,000m ³ /日(うち整備済 15,000m ³ /日)
売水量	8,016m ³ /日(整備済給水能力に対する施設利用率53.4%)
料金 平成24年 3月27日改定 (原水供給追加)	次の区分により算定した額に1.08を乗じて得た額 基本料金 1 m ³ 当たり $\left\{ \begin{array}{l} 45円 (\sim 400m^3) \\ 20円 (401m^3 \sim) \\ 9円 (原水) \end{array} \right.$ 特定料金 1 m ³ 当たり $\left\{ \begin{array}{l} 45円 (基本使用水量が400m^3以下の場合) \\ 20円 (" が400m^3を超える場合) \\ 9円 (原水) \end{array} \right.$ 超過使用料金 1 m ³ 当たり $\left\{ \begin{array}{l} 90円 (基本使用水量が400m^3以下の場合) \\ 40円 (" が400m^3を超える場合) \\ 18円 (原水) \end{array} \right.$
売水先 3企業	第一稀元素化学工業(株) 6,600m ³ /日 (同)しまね森林発電 1,200m ³ /日 (株)日本パーカーライジング広島工場 216m ³ /日

3. 営業収支の状況

(単位:千円)

年度 科目	平成25年度	平成26年度	平成27年度
営業収益	152,723	155,886	180,184
(うち料金収入)	(152,484)	(155,654)	(179,948)
営業外収益	9,995	83,126	27,501
特別利益	123,083	1,537,834	0
計	285,801	1,776,846	207,685
営業費用	163,998	216,312	154,815
営業外費用	12,409	11,676	9,437
特別損失	146,812	2,347,891	0
計	323,219	2,575,879	164,252
当年度純利益 (△当年度純損失)	△ 37,418	△ 799,033	43,433
前年度繰越欠損金	628,411	664,348	1,463,381
当年度未処理欠損金	665,829	1,463,381	1,419,948

4. 施設の概要

(1) 飯梨川工業用水道事業

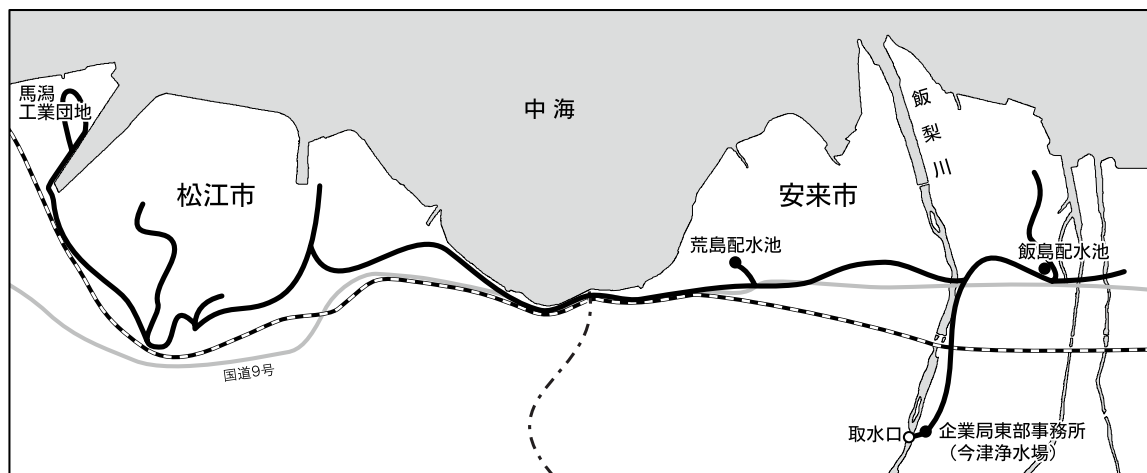
施工期間	昭和38年4月～昭和48年6月		
水源	斐伊川水系 飯梨川（伏流水）		
給水能力	工業用水 34,000 ^m ₃		
貯水設備	布部ダム	有効容量5,000,000 ^m ₃ 、長さ190m、高さ55.9m 重力式コンクリートダム	
	逆調整池	有効容量60,000 ^m ₃ 、長さ48.0m、高さ2.0m 自動倒伏門扉3門	
		コンクリート分水路 延長1,410.1m	
取水設備	集水埋渠	多孔ヒューム管 埋設深4.0m(建設当初) 径900mm～1,100mm 延長700m	
浄水設備	沈砂池	容量700 ^m ₃	
配水設備	建屋	249 ^m ₂ ポンプ室、電気室	
	ポンプ	口径400mm×125kW×1台、口径350mm×110kW×2台 ディーゼルエンジン180PS×1台(予備)	
	配水池	荒島配水池 容量3,000 ^m ₃ 飯島配水池 容量4,700 ^m ₃	
	配水管	ダクタイル鋳鉄管他 径100mm～800mm、延長22,993m	
建設費 (単位:千円)	事業 費目	全体事業	工業用水道
	総額	1,317,158	759,288
	専用施設費分	950,262	484,840
	共同事業費分	272,000	194,000
	その他	94,896	80,448

(2) 江の川工業用水道事業

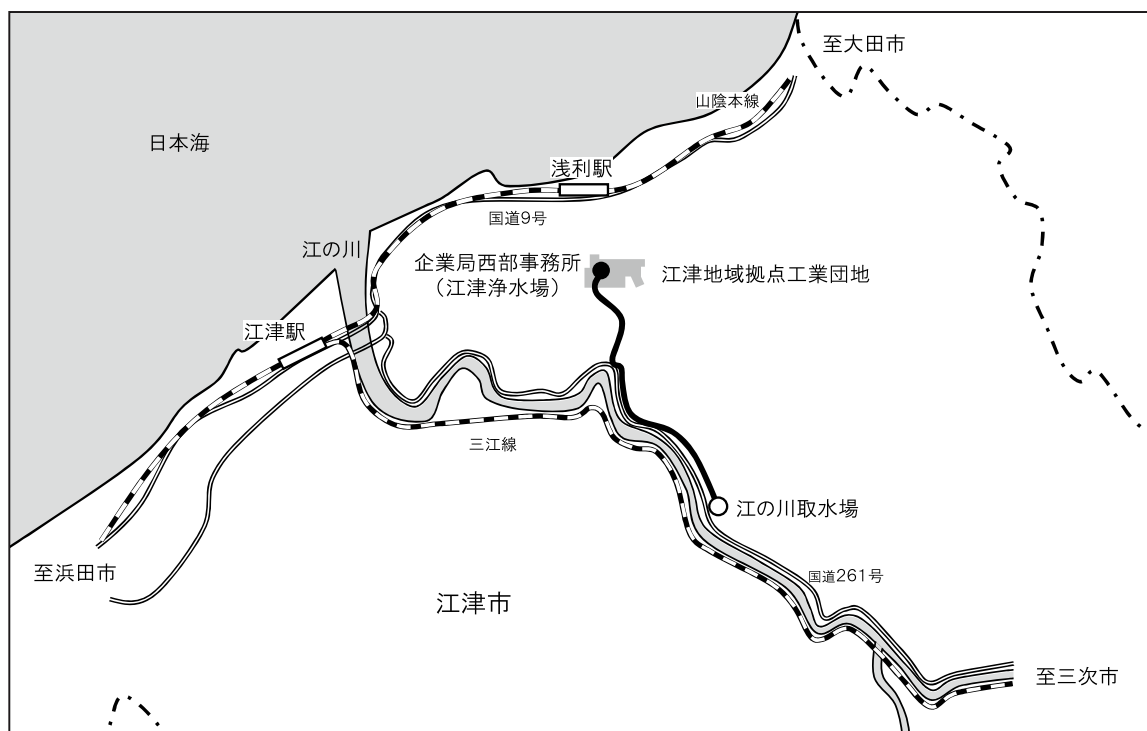
施工期間	昭和55年～未定（一部供用開始H8～）	
水源	江の川水系 八戸川（表流水）	
給水能力	日量 50,000m ³ （整備済 15,000m ³ ）	
貯水設備	八戸ダム	有効容量23,200,000m ³ 、長さ151m、高さ72.0m 重力式コンクリートダム
取水設備	取水塔	高さ38m
	取水ポンプ	立軸斜流ポンプ 口径300mm×210kW×2台
	発電機棟	339m ² 自家用発電機 500kVA 1台
導水設備	導水管	ダクタイル鋳鉄管 径1,000mm 延長5,575m
浄水設備	着水井	容量174m ³
	管理棟	1,307m ² 電気計装設備、薬品注入設備、水質試験室
	発電機棟	162m ² 自家用発電機 625kVA×1台
	排水処理設備	天日乾燥床 680m ² ×2池
	急速混和池	1池
	薬品沈殿池	1池
	送水ポンプ井	1池
配水設備	ポンプ	推定末端圧一定給水ユニット(出力3.7kW×2台)×2組
	配水管	ダクタイル鋳鉄管 径100mm～450mm、延長1,517m
建設費	総額	4,846,810 千円

5. 概要図

(1) 飯梨川工業用水道事業



(2) 江の川工業用水道事業



水道事業

【水 道 事 業】

1. 事業の概要

(1) 島根県水道用水供給事業

■創設事業(飯梨川水道施設:布部系)

県は、昭和34年8月の集中豪雨による水害を契機に、県東部を流れる飯梨川の洪水調節、下流地域への工業用水及び水道用水の供給、並びに発電所建設による電力供給を目的として、飯梨川に布部ダムを建設する飯梨川総合開発事業を計画し、昭和38年4月に着工、昭和43年3月に完成した。

このダムを水源とする水道用水供給事業は、工業用水道事業の計画変更により日量16,000 m³ (布部系) として、昭和44年6月から松江市及び旧東出雲町に、昭和48年7月には安来市に給水を開始した。

なお、工業用水と共有していた布部系の送水施設については、第1期拡張事業・第2期拡張事業の給水開始を経て、平成23年7月、工業用水道事業に専用化した。

■第1期拡張事業(飯梨川水道施設:山佐系)

県東部の各市町では、年々上水需要の増加が見込まれていたが、市町単独での水源開発が困難なことから、県は、飯梨川支流山佐川に山佐ダムを建設する山佐川総合開発事業を計画し、昭和48年4月に着工、昭和55年4月に完成した。

このダムを水源として、松江市、安来市、旧東出雲町及び旧八束町を対象に、日量36,000 m³の水道用水を供給する第1期拡張事業(山佐系)を昭和48年4月に着工し、昭和55年3月に完成、同年5月から松江市及び旧東出雲町、昭和57年6月には旧八束町、昭和59年7月には安来市に給水を開始した。

平成10年4月からは工業用水と共用していた布部系・日量16,000 m³を、山佐系の送水管に振り替えて飯梨川系全量を安来市上坂田町地内の今津浄水場で一括浄水処理する改良工事に着手し、平成12年3月に完成した。

■第2期拡張事業(斐伊川水道施設:尾原系)

県東部の将来にわたる安全かつ安定した給水体制を確保するため、国土交通省が一級河川斐伊川に建設する尾原ダムに参画して平成5年度から行ってきた斐伊川水道建設事業(計画日量35,400 m³)が平成22年度に完了し、平成23年4月から松江市(旧東出雲町含む)、出雲市及び雲南市に給水を開始した。

これらの事業により、島根県水道用水供給事業としては県東部の4市1団体(松江市、安来市、出雲市、雲南市、斐川宍道水道企業団)へ給水している。

(2) 江の川水道用水供給事業

県の中央部を流れる江の川水系八戸川に昭和51年3月に建設された八戸ダムには、日量230,000 m³ (工水日量203,000 m³、上水日量27,000 m³)の都市用水が確保されている。このうち工業用水日量50,000 m³、上水道用水日量27,000 m³について、昭和55年度から上水、工水の共同事業として江津市松川町地内に専用施設の建設工事に着手し、昭和60年3月に完成した。このうち水道用水については、昭和60年4月から江津市及び大田市(旧仁摩町、旧温泉津町含む)に給水を開始した。

受水料金低減のため江津市及び大田市と合意した「江の川水道用水料金算定に係る基本協定」に基づき、送水設備の一部(大田市、江津市の専用施設)を平成28年3月31日に両市へ無償譲渡した。

2. 給水計画

平成28年度給水計画

(1) 島根県水道用水供給事業（飯梨川水道施設）

水源 布部ダム、山佐ダム

給水先	給水能力(m ³ /日)	契約量(m ³ /日)
松江市	40,000	17,805 ~ 24,540
安来市	12,000	9,500 ~ 10,500
2市	52,000	—

(料金算定期間：平成26～28年度)

(2) 島根県水道用水供給事業（斐伊川水道施設）

水源 尾原ダム

給水先	給水能力(m ³ /日)	契約量(m ³ /日)
松江市	30,747	20,080 ~ 22,485
出雲市	3,600	1,834 ~ 2,832
雲南市	1,000	700
斐川宍道水道企業団	53	35 ~ 45
3市1団体	35,400	—

(料金算定期間：平成26～28年度)

(3) 江の川水道事業

水源 八戸ダム

給水先	給水能力(m ³ /日)	契約量(m ³ /日)
江津市	17,500	6,348 ~ 7,454
大田市	9,500	5,430 ~ 6,146
2市	27,000	—

(料金算定期間：平成28～29年度)

3. 営業収支の状況

(単位:千円)

年 度 科 目	平成25年度	平成26年度	平成27年度
営 業 収 益	1,697,097	1,666,716	1,676,490
(うち料金収入)	(1,695,918)	(1,665,650)	(1,675,413)
営 業 外 収 益	57,682	395,629	376,072
特 別 利 益	0	0	395,352
計	1,754,779	2,062,345	2,447,914
営 業 費 用	1,470,475	1,806,382	1,749,497
営 業 外 費 用	214,375	198,819	187,117
特 別 損 失	0	12,206	1,332,148
計	1,684,850	2,017,407	3,268,762
当 年 度 純 利 益 (△当年度純損失)	69,929	44,938	△ 820,848
前年度繰越利益剰余金	0	0	0
その他未処分利益剰余金変動額	—	95,551	44,938
当年度未処分利益剰余金 (△当年度未処理欠損金)	69,929	140,489	△ 775,910

4. 施設の概要

(1) 島根県水道用水供給事業（飯梨川水道施設）

事業	創設（布部）事業		第一期拡張（山佐）事業	
施工期間	昭和38年4月～昭和49年3月		昭和48年4月～昭和55年3月	
取水河川	斐伊川水系 飯梨川（伏流水）		斐伊川水系 山佐川（伏流水）	
浄水場	今津浄水場 安来市上坂田町545-1			
給水能力	日量 16,000m ³		日量 36,000m ³	
貯水設備	布部ダム	有効容量5,000,000m ³ 長さ190m、高さ55.9m 重力式コンクリートダム	山佐ダム	有効容量4,450,000m ³ 長さ220m、高さ56m 重力式コンクリートダム
	逆調整池	有効容量60,000m ³ 、自動倒伏門扉3門（長さ48.0m、高さ2.0m） コンクリート分水路 延長1,410.1m		
取水設備	集水埋渠	多孔ヒューム管 埋設深4.0m（建設当初）	多孔ヒューム管 埋設深3.5m（建設当初）	
		径900mm～1,100mm 延長700m	径800mm 延長760m	
	沈砂池	長さ22.0m、幅6.0m、高さ6.76m 容量 700m ³		
導水設備	導水管	径600mm 延長141m		
浄水設備	着水井	容量 139m ³		
	管理棟	547m ² 操作室、水質試験室、事務室		
	自家発電機棟	85m ² 高圧自家用発電機 875kVA 1台		
	緩速濾過池	面積 1,316m ² × 8池、 ※ 1,283m ² × 1池		
	滅菌井	容量 51m ³		
	浄水池	容量 1,176m ³ × 2池		
	次亜塩生成棟	136m ² 次亜塩生成装置 48kg/日 × 1台、36kg/日 × 1台		
排水処理設備	排水ポンプ 37kW × 2台、 天日乾燥床 450m ² × 2池			
送水設備	送水ポンプ室	284m ² 地上1階、地下1階 鉄筋コンクリート造		
	送水ポンプ	横軸両吸込渦巻ポンプ 口径300mm × 132kW × 3台 ※口径300mm × 132kW × 1台		
	調整池	荒島調整池 容量5,000m ³		
	送水管	ダクタイル鋳鉄管 径700mm 延長14,242m		
建設費 (単位:千円)	事業費目	全体事業	上水道	第一期拡張
	総額	2,096,605	1,337,317	8,767,912
	専用施設費分	950,262	465,422	5,201,421
	共同事業費分	272,000	78,000	2,466,112
	その他	94,896	14,448	1,100,379
	第二期拡張事業	779,447	779,447	

※印は第二期拡張事業（平成10年4月～平成12年3月施工）

(斐伊川水道施設)

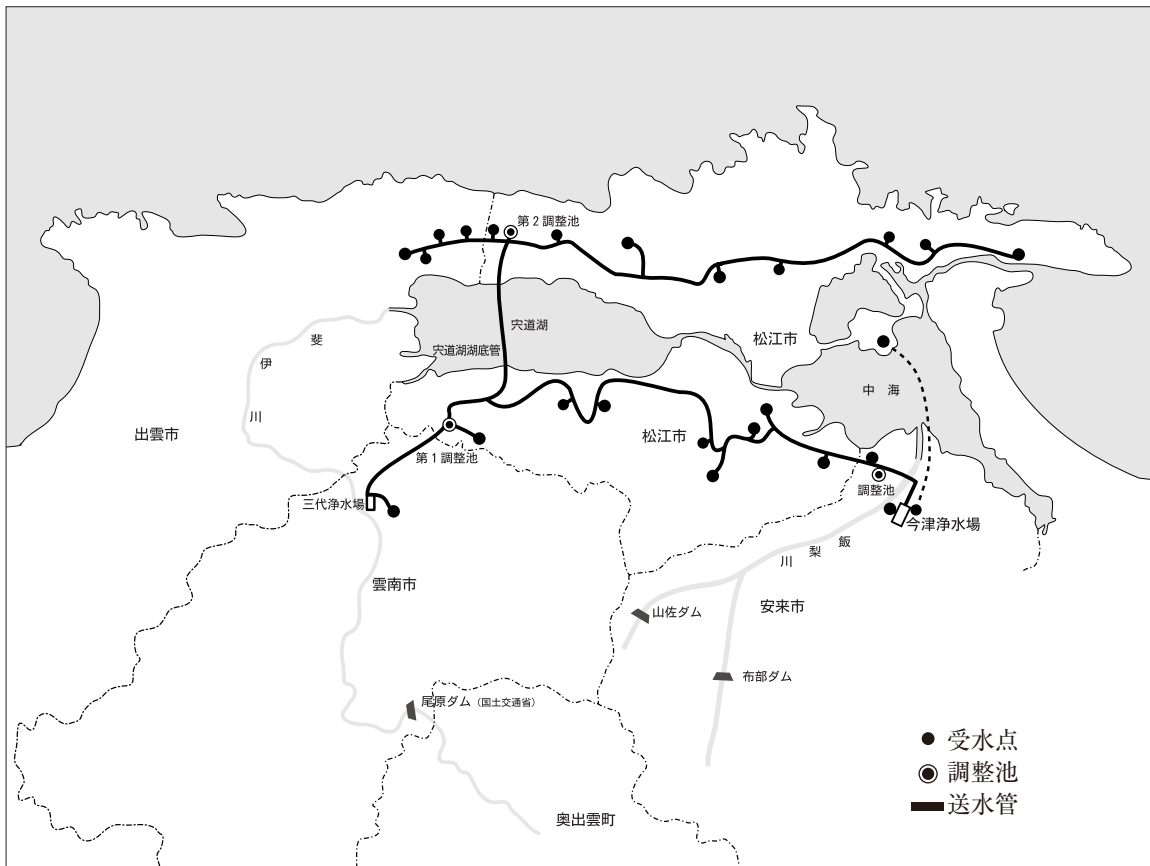
事業	第二期拡張（尾原）事業	
施工期間	平成5年4月～平成23年3月	
取水河川	斐伊川水系 斐伊川（伏流水）	
浄水場	三代浄水場 雲南市加茂町三代96-2	
給水能力	日量 35,400 m ³	
貯水設備	尾原ダム	有効貯水容量 54,200,000 m ³ 長さ443m、高さ90m 重力式コンクリートダム
取水設備	集水埋管	径1,000mm 延長374m
	導水渠	径1,500mm 延長140m
	取水ポンプ棟	面積158 m ²
	取水ポンプ	水中モータポンプ口径250mm×37kW×3台
導水設備	導水管	径800mm 延長301m
浄水設備	着水井	容量54 m ³ ×2池
	管理棟	面積337 m ² 水質試験室、監視室
	浄水池棟	面積1,189 m ² 自家発電室（自家用発電機1000kVA×1台） 次亜室（塩素滅菌設備）
	緩速濾過池	面積850 m ² ×10池（計画）：6池（完成）
	塩素混和池	容量70 m ³ ×2池
	浄水池	容量1,350 m ³ ×2池
	その他施設	排水池1池、汚泥池1池、粗ろ過池1池
送水設備	送水ポンプ	横軸両吸込渦巻ポンプ口径250mm×220kW×3台
	調整池	第1調整池 1,600 m ³ ×2池 第2調整池 2,600 m ³ （中間隔壁二槽式）
	送水管	ダクタイル鋳鉄管 径150～800mm 延長108,513m
建設費 (単位：千円)	総額	36,795,597
	専用施設費分	26,509,972（工事費、測量試験費 他）
	共同事業費分	6,382,610（ダム負担金）
	その他	3,903,015（建設利息、事務費 他）

(2) 江の川水道用水供給事業

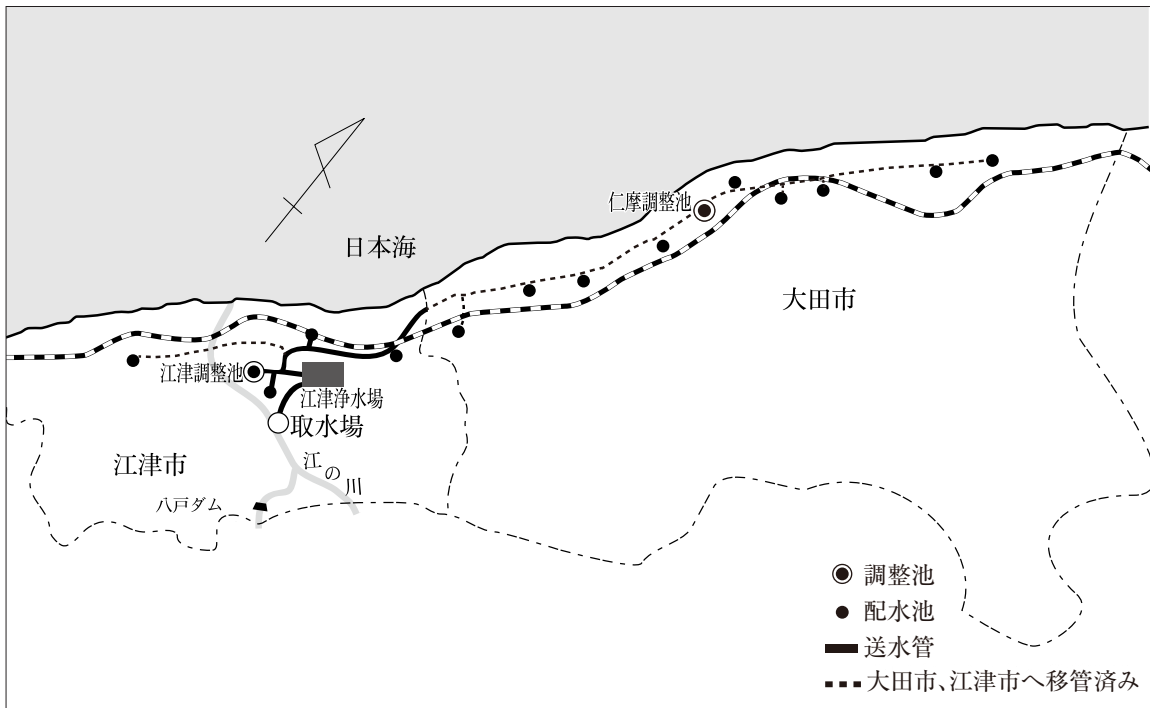
施工期間	昭和55年4月～平成5年3月	
取水河川	江の川水系 八戸川（表流水）	
浄水場	江津浄水場 江津市松川町上河戸703	
給水能力	日量 27,000m ³	
貯水設備	八戸ダム	有効容量23,200,000m ³ 長さ151m、高さ72m 重力式コンクリートダム
取水設備	取水塔	高さ38m
	取水ポンプ	立軸斜流ポンプ口径300mm×210kW×3台
	発電機棟	面積339m ² 自家用発電機500kVA×1台
導水設備	導水管	ダクタイル鋳鉄管 径1,000mm 延長5,575m
浄水設備	着水井	容量174m ³
	管理棟	1,307m ² 電気計装設備、薬品注入設備、水質試験室
	発電機棟	162m ² 自家用発電機625kVA×1台
	薬品沈殿池	容量2,460m ³ ×4池
	緩速濾過池	面積1,120m ² ×8池
	塩素混和池	容量40m ³
	浄水池	容量640m ³ ×2池
	次亜塩素生成棟	144m ² 次亜塩素酸ソーダ装置60kg/日×2台
	排水処理設備	天日乾燥床 680m ² ×2池
送水設備	送水ポンプ	横軸両吸込渦巻ポンプ口径300mm×132kW×3台
	調整池	江津調整池 3,000m ³
	送水管	ダクタイル鋳鉄管 径450～700mm 延長9,693m
建設費	総額	9,437,616千円 (平成28年3月31日に大田市、江津市へ一部移管)

5. 概要図

(1) 島根県水道用水供給事業



(2) 江の川水道用水供給事業



宅地造成事業

【宅地造成事業】

1. 事業の概要

宅地造成事業は、昭和44年に、住宅及び商業団地の造成を始まりとし、道分山開発事業（浜田市）、昭和59年に、笠柄地区宅地造成事業（浜田市）を行い事業精算している。

その後、地域開発の拠点となる工業団地を造成し、平成9年に旭拠点工業団地を造成し、平成18年に法務省へ売却している。

現在、松江市の江島工業団地（34.6ha）、江津市の江津地域拠点工業団地（73.8ha）を販売している。

2. 営業収支の状況

（単位：千円）

年 度 科 目	平成25年度	平成26年度	平成27年度
営業収益	20,921	429,347	24,197
営業外収益	1,613	3,169	1,723
計	22,534	432,516	25,920
営業費用	22,507	430,632	54,566
営業外費用	87	73	287
特別損失	0	3,321	0
計	22,594	434,026	54,853
当年度純損失	60	1,510	28,933
前年度繰越利益剰余金	0	0	0
当年度未処理欠損金	60	1,510	28,933

3. 江島工業団地造成事業

江島工業団地は、宍道湖・中海圏域の中央部に位置し、自然環境と交通に恵まれており、工業用地の開発と併せ、港湾施設、水中貯木場等の整備を図り臨海工業地区を形成している。

(1) 事業の概要

江島地区に製造業及び流通関連等幅広い業種で形成された工業団地を造成している。

総面積は34.6ha（うち工業用地21.6ha）で、昭和48年度から工事に着手、昭和57年度に一部完成し、以後企業の進出に併せて造成工事を行っている。

平成28年4月1日現在、分譲予定面積216,411㎡に対して18社に分譲し、分譲面積200,923㎡、分譲率92.8%となっている。

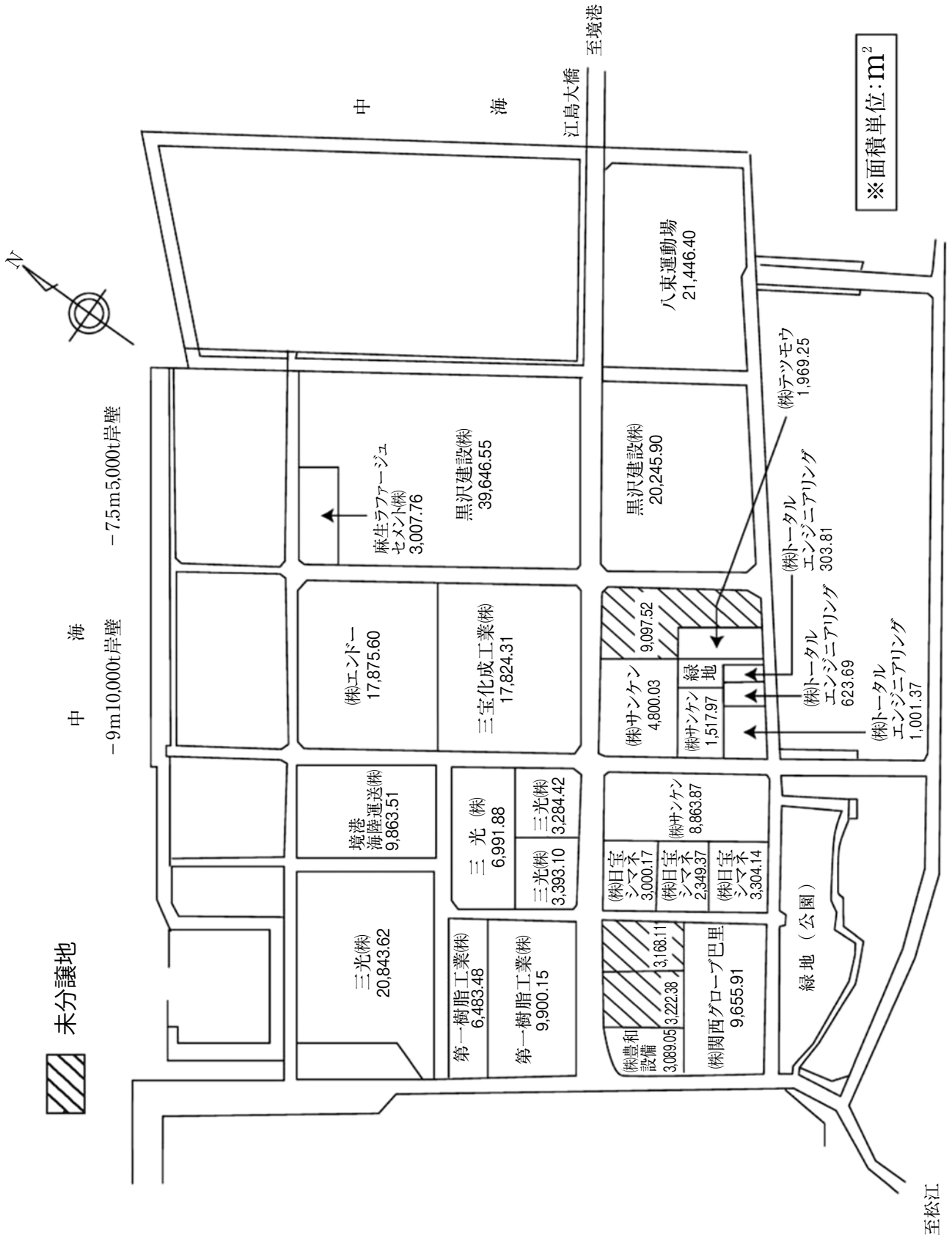
現在、1㎡当たり14,300円で分譲している。

(2) 土地利用状況

(単位：㎡)

区 分	面 積	内 訳	備 考
工 業 用 地	216,411		
緑地環境施設	40,588	緑地 8,112 公園 32,476	
道 路 用 地	65,568		
水 路 用 地	4,756		
そ の 他	18,655		
計	345,978		

(3) 団地内配置図



4. 江津地域拠点工業団地造成事業

江津地域拠点工業団地は、八戸ダムに貯留されている豊富な工業用水を活用し、用水型企业中心の誘致を図り、石央地域の拠点的な工業団地の形成を目指している。

(1) 事業の概要

江の川工業用水50,000m³/日を利用した用水型関連業種の立地を想定し、内陸型の工業団地を造成している。

総面積は73.8ha（うち工業用地は47.3ha）、昭和55年度から造成に着手し、平成28年4月1日現在の造成済工場用地は21.2haで、企業進出にあわせて造成工事を行うこととしている。

平成28年4月1日現在、10社に分譲し、分譲面積170,531m²、工場用地に対する分譲率36.0%、造成済工場用地に対する分譲率80.4%となっている。

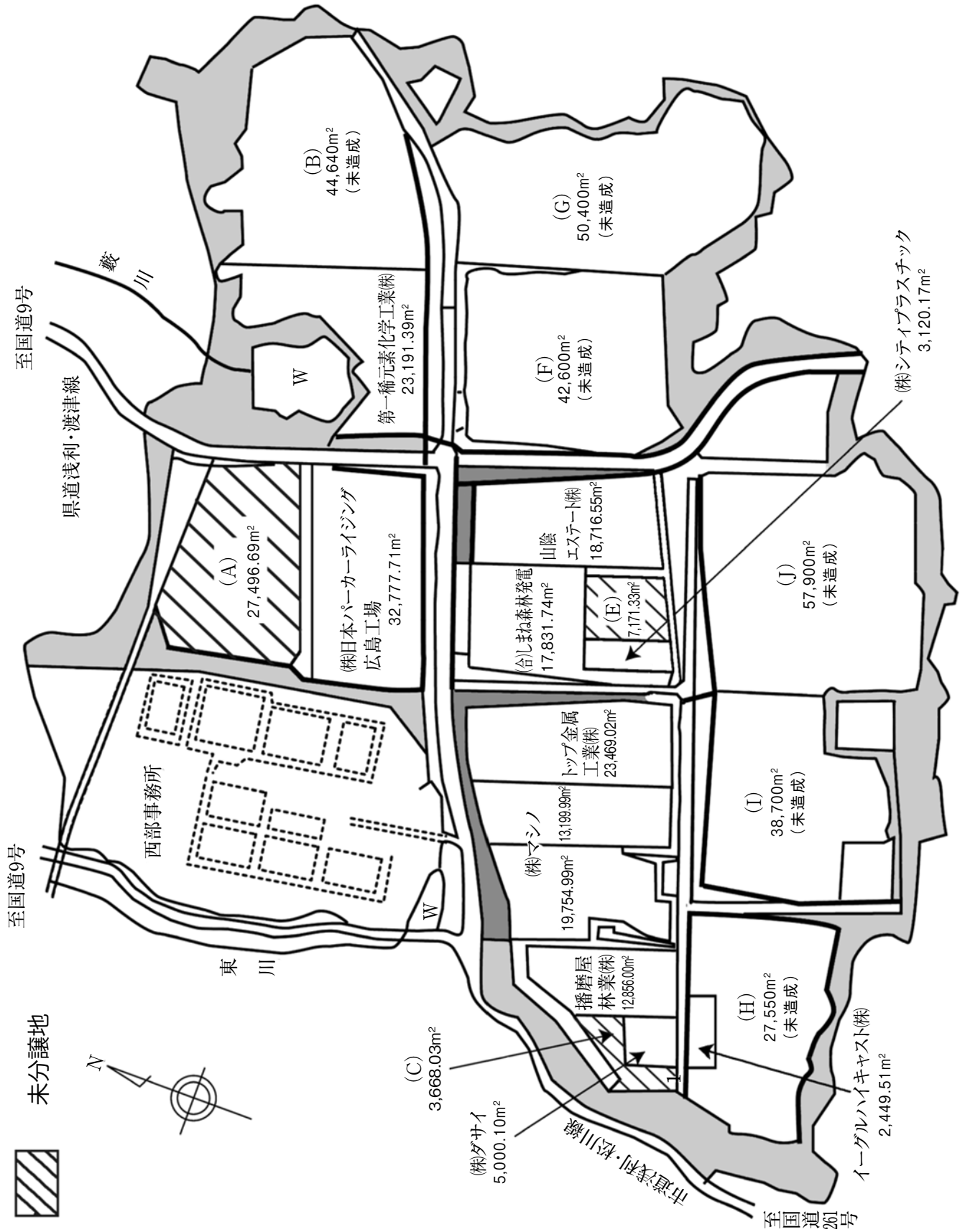
現在、1m²当たり12,000円で分譲している。

(2) 土地利用計画

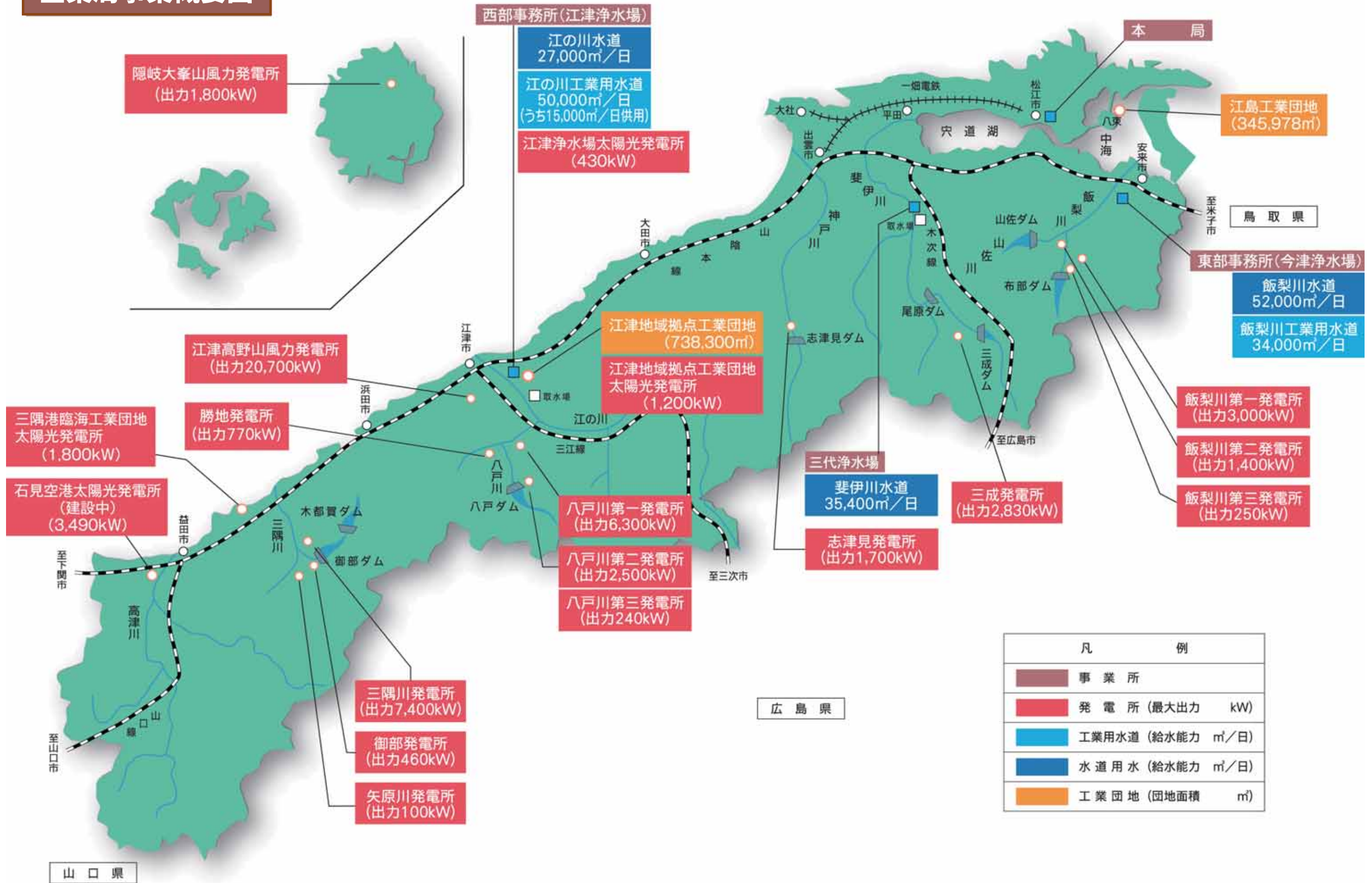
(単位：m²)

区 分	面 積	内 訳	備 考
工 業 用 地	473,506		うち造成済工場用地 211,986
緑地環境施設	184,347	法面周辺緑地 161,547 環 境 施 設 22,800	
道 路 ・ 水 路	80,447		
計	738,300		

(3) 団地内配置図



企業局事業概要図



凡 例	
	事業所
	発電所 (最大出力 kW)
	工業用水道 (給水能力 m ³ /日)
	水道用水 (給水能力 m ³ /日)
	工業団地 (団地面積 m ²)

平成28年度 **企業局の概要**

発行・編集 島根県企業局

〒690-8501 松江市殿町8

TEL 0852-22-5673

FAX 0852-22-5679

<http://www.pref.shimane.lg.jp/kigyo/>

平成28年5月発行